

岐阜県／中部森林管理局森林技術・支援センター



北面(正面)外観

所在地	岐阜県下呂市森876-1
建物データ	<p>構造 木造CLT造</p> <p>階数 平家建</p> <p>敷地面積 843.60㎡</p> <p>建築面積 345.72㎡(庁舎棟 310.15㎡、車庫棟 35.57㎡)</p> <p>延べ面積 320.85㎡(庁舎棟 285.28㎡、車庫棟 35.57㎡)</p>
主要用途	森林管理局 事務所
完成年月	令和4年8月
設計概要	<p>森林技術・支援センターは、中部地方の国有林のフィールドを活用した林業の技術開発、林業振興の拠点として、岐阜県下呂市に所在する施設です。既存庁舎は、建設後50年以上を経過し老朽化が著しいことから、新たに同敷地内に建て替えとなったものです。</p> <p>新庁舎においては、構造形式を木造(CLT(※1)パネル工法)とするほか、ポーチ屋根の軒天井やホールの壁は構造体であるCLTをそのまま見せたり、既存庁舎の床フローリング材を再利用するなど、内装の木質化を行うほか、暖房熱源には木質バイオマス燃料(ペレット(※2))ボイラーを併用し、積極的な木材利用を図っております。</p> <p>※1 CLT: Cross Laminated Timber(直交集成板)の略称で、ひき板(ラミナ)を並べた後、繊維方向が直交するように積層接着した木質系材料</p> <p>※2 端材やおがくず等を乾燥後さらに粉碎し、手のひらサイズに圧縮成形した木質燃料</p>

○CLT※1を活用した庁舎「森林技術・支援センター」が令和4年8月に完成しました。

○木材利用のPRのため、ポーチ屋根の軒天井やホールの壁など、随所に国内産の杉材を使ったCLTの現しを採用し、内装は木材の仕上げとしており、来庁者が木質空間の豊かさを感じられる施設となっています。

また、森林資源を有効活用するため、暖房に木質バイオマス燃料(ペレットボイラー※2)を採用しています。

(※1:CLTとはCross Laminated Timberの略称で、ひき板(ラミナ)を並べた後、繊維方向が直交するように積層接着した木質系材料です)

(※2:ペレットボイラーとは、乾燥した木材を細粉し、圧力をかけて直径6~8mm、長さ5~40mmの円筒形に圧縮成形した木質燃料を利用したボイラーです)



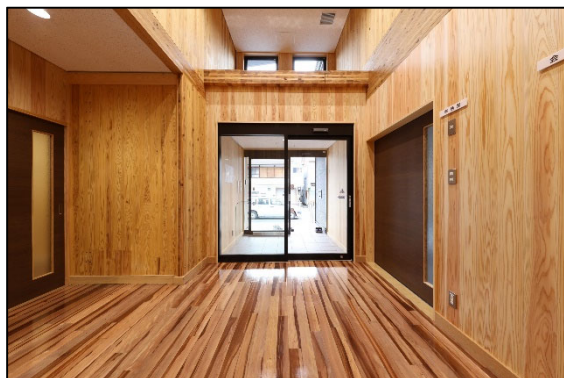
位置図



庁舎



車庫



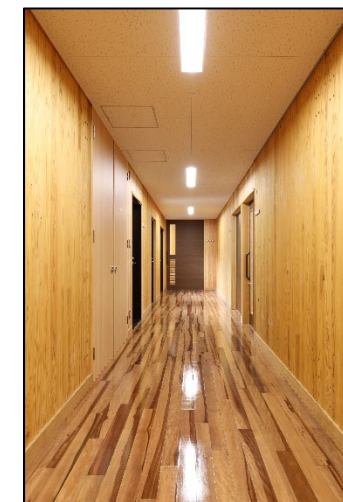
玄関ホール



事務室



ペレットボイラー



廊下